

関東経済産業局長賞

医療用ARで看護師に革命を

喜びの声

このたびは関東経済産業局長賞という大変光栄な賞を賜り、誠にありがとうございます。私は医学生として日々医療現場に触れる中で、数多くの課題を実感しており、その

解決に向けて活動してまいりました。今回は医療用ARグラスで看護師の記録負担の軽減を目指す事業プランを発表いたしました。記録業務が過度に医療現場を圧迫すると、医療従事者の疲弊につながり、患者様の医療体験にも影響を及ぼすまいと。

しかねません。だからこそ現場の内側から業務の在り方を見直し、医療に関わる方々双方にとってより良い環境を実現したいと考えております。今回の受賞を励みに、今後も一層研さんを重ね、社会に価値を提供できるよう尽力してまいります。



往復、メモから転記の二重作業が、看護師にとって慢性的な負担となり、ヒヤリハット報告や振り返りの循環も滞りがちになっている。その結果、ケアの質・

さらに手順逸脱や転倒リスクの兆候を検知してアラートを出し、必要項目からインシデントレポートの下書きを自動生成する。医師への連絡は映像付き状況サマリーを非同期に送信でき、高緊急度は即時通報で対応する。

人工知能（AI）搭載拡張現実（AR）グラス「ミルダケ」は、看護師支援ソフトウェア。映像と音声から看護師の行動をAIがリアルタイムで解析して、点滴交換やバイタルサイン、患者との会話まですべてをハンズフリーで電子カルテに反映させる。ARとAIで人間味あふれる医療現場の実現を目指す。

現在、看護師の業務時間の約3割が介護記録などの入力作業に割かれている。これは残業の増加や入力ミス、連携遅延を招き、患者と向き合う時間を圧迫している。電子カルテは情報の一元化に資する一方、複雑な様式や端末への誤入力がある場合、目は、目線操作や音声で訂正できる。

安全文化・働きがいが増え、医療現場の未来が描かれているという。

筑波大学

鈴木海聖

キャンパスベンチャーグランプリ東京

喜びの声

このたびは光栄な賞をいただき、身の引き締まる思いです。私自身の詐欺被害という苦い経験から生まれた「サギ止め太郎」ですが、審査を通じて多くの方から共感をいただいたことが何よりの励みとなりました。

昨今の人工知能（AI）ブームの裏側で、デジタルに不慣れた高齢者の方々がその恩恵から取り残されている現状があります。私は、最先端の技術を「使いやすさ」という形に変換し、届きにくい場所へ届けることが自分の使命だと確信しています。

今回の受賞を機に、一刻も早く製品を世に送り出し、詐欺被害ゼロの社会を目指します。チームや支援者の皆さま、本当にありがとうございます。

大賞

AIで詐欺電話を検知「サギ止め太郎」



「サギ止め太郎」は、高齢者を狙った特殊詐欺を未然に防止するための電話機接続デバイスとして開発した。特徴は①回線を使わずに利用可能②通話中にリアルタイムで検知・警告③固定電話に電源とモジュラージャックを差し込むだけで使用可能。利用者に負担をかけずに導入できることが最大の特徴

中核機能は「リアルタイムでの詐欺検知と警告」で、通話中の音声を人工知能（AI）が解析し、詐欺特有の会話パターンや心理的誘導の兆候を検知すると、即座に警告を発する。利用者にはLEDランプやブザーで、危険度を証し、対応した。スマートフォンに対応した製品も開発中で、全国で唯一「特殊詐欺対策」のある兵庫県警と公式連携を締結。実証フィールドや制度調整を含めた協力体制を確立している。具体的には自動応答AIを使った新たな詐欺の手法を学習中で、多様化する手口への対応力を高めている。初期は自治体をターゲットに既に普及している「自動通話録音機」配布予算を代替する形で導入を働きかけていく。

「サギ止め太郎」は、高齢者を狙った特殊詐欺を未然に防止するための電話機接続デバイスとして開発した。特徴は①回線を使わずに利用可能②通話中にリアルタイムで検知・警告③固定電話に電源とモジュラージャックを差し込むだけで使用可能。利用者に負担をかけずに導入できることが最大の特徴

東京都立産業技術高等専門学校

西谷 颯哲

審査講評

創造性あふれ説得力あるプレゼンに感動

第22回東京大会はまれにみる激戦となった。セミアイナルを経てファイナリストに選出された11チームはすべて粒ぞろい。事業化提案は、革新的な「独創性」「今日に富んでおり、荒削りな原石の中にキラリと光るものを強く感じた。今回のファイナル審査会も、若きアントレプレナーの熱い思いに直に触れることができ、すべての

事業化提案が創造性に溢れ、説得力があり、学生たちの頼もしさに感動した。大賞に輝いたのは東京都立産業技術高等専門学校の西谷颯哲さんの「TIO Nexus」AIで詐欺電話を検知「サギ止め太郎」。西谷さん自らの詐欺被害体験が起点。AI×IoT技術を活用して固定電話の通話を音声クラウドでリアルタイム分析し、詐欺の可能性を音聲・光で即座に知らせるシステムを開発することで、被害を未然に防ぐ取り組み。高齢者を対象とした6カ月間にわたる実証実験、兵庫県警との連携等、既に実証実験を重ねており、2025年5月には法人化を済ませスタートアップとして事業を推進しており、プレゼンの説得力に圧迫された。

向き合う時間を取り戻すための医療DXの事業化提案。医療現場の深刻な問題に対する理解の解像度の高さ、現場の肌感覚が事業化提案のパンチ力の大きな源泉になっている。2件の優秀賞の開志専門職大学古津瑛陸さんの「予防医療に革命を」Me TIME FOODS。若林颯さんの「東京大学大学院若林颯の低コストセンサーで実現

審査委員長 各務 茂夫



審査委員長 各務 茂夫

関東経済産業局長賞は筑波大学の鈴木海聖さんから医学生チームの株式会社REMEDY「医療用ARで看護師に革命を」を。ARデバイス「ミルダケ」で看護師の記録作業を自動化し、患者に

CVGが全国的な学生ビジネスプランコンテストとして、学生の起業家魂に火を付け、若手起業家の登壇門としての位置づけをますます強いものにしていくことをあらためて感じた今回の東京大会だった。

優秀賞

開志専門職大学 古津 瑛陸



高齢者の栄養管理を支援

本プランは、保険適用内外の訪問栄養サービスを活用した予防医療モデル。NPO法人として「訪問栄養ケアステーション」を設立し、管理栄養士による栄養指導を保険適用内で普及。さらに希望者には自費型「シニア版ライザップ」を提供し、栄養と運動を統合的に支援する。最終段階では地域住民が担い手となるモデルへ発展させ、雇用、健康、地域経済を同時に強化する。

要介護の原因として「低栄養」「サルコペニア」「フレイル」が上位に位置し、これらは生活の質を低下させるだけでなく、医療・介護費の増加につながる。現行の介護保険制度では、栄養支援についての仕組みが整備途上といえ、本プランはこうした構造的空白を埋めることが目的。まずは訪問栄養ケアステーションを立ち上げ、管理栄養士が高齢者の自宅を訪問する仕組みを整える。食事状況のアンケート、食事記録の確認、個別栄養指導を行い、国際的な栄養評価指標で状態を測定する。定期的に改善度を可視化することで、高齢者本人や家族も成果を把握できる。次に改善意欲の高い層に、栄養管理士による食事指導とトレーニングによる軽運動をセットにして提供する。

優秀賞

東京大学大学院 若林 颯



低コストセンサーで実現

本プランは、低コストセンサーネットワークを独自の構築し、高解像度の粒子状物質（PM_{2.5}）暴露リスクマップを生成することで、市民や企業に新たな価値を提供するアプリケーション。ユーザーはリアルタイムで汚染度の低い経路や時間帯を確認でき、個人暴露履歴の可視化や健康リスクの数値化を通じて行動改善を促すことができる。

さらに暴露データを匿名化して医療機関や保険会社に共有可能とし、診断補助やリスク評価・商品設計にも活用できる。自治体や企業に対しては、地域リスク情報を提示し、環境対策やCSR活動、環境・社会・企業統治（ESG）開示に貢献する。ターゲットはケニア、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、エチオピアなどの都市部。過酷なアフリカの環境で、事業所内の安全管理としてガスの漏えい検知を提供する。

ウェブでニュースはいかがですか？



ニューススイッチ
NEWSWITCH

<http://newsswitch.jp/>

■ ニューススイッチとは？
日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく、話題のニュースから、小さいけれどもっと面白いニュースを幅広い読者へ、そしてニュースを起点に、コミュニティを少しずつ作っていただくと考えています。

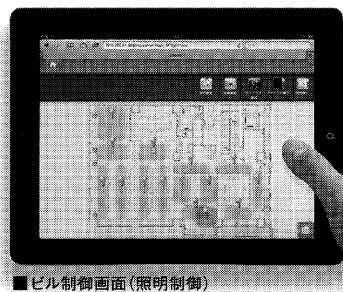
■ 独自のテーマ
ニューススイッチ編集部が独自に企画・取材した特集記事をはじめ、新聞とは一味違う切り口でニュースをお伝えします。

■ 記者が記事選定・コメントをプラス
日刊工業新聞の記者がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。記事や取材背景を解説します。

UCHIDA

このビルぜんぶ、お手元のタブレットから統合監視・制御できます。

ビルのスマート化、はじめます。



■ビル制御画面（照明制御）

「ICTでもっと建築は自由になるはずだ」。そんな思いから誕生した、スマートビル統合管理ソリューション。複雑化、高コスト化が進んでしまったビルの統合監視・制御に、先進のICT技術とセンサーデバイスでスマート化、低コスト化を実現します。ビル全体の設備自由化、はじめるのは、内田洋行です。

内田洋行のビル統合管理ソリューション

今すぐ検索！ 内田洋行 IoT 検索 <https://office.uchida.co.jp/solution/iot/>

日刊工業新聞社賞



受賞した（右から）鈴木寧々さん、長谷川凜太郎さん、大野結愛さん

埼玉大学

酒向 宇大

本プランは、ウェブブラウザ上で人工知能（AI）が顧客役となり、リアルタイムに商談を解析し、改善点を即時フィードバックする。座学では得にくい実務に近い会話運用を、時間、場所を問わず反復できるトレーニングサービス。評価

MIT賞



受賞した（右から）鈴木寧々さん、長谷川凜太郎さん、大野結愛さん

亜細亜大学

蜂須賀 涼太

「AURA」は、耳前部（三叉神経周辺）に装着して、微弱電気刺激で、利用者は必要なタイミングで自然な覚醒を得ることができる。運転や夜勤、学習、会議など、眠気が許され

AURA

眠気をオフにする電気刺激デバイス

ストライク賞



受賞した（右から）鈴木寧々さん、長谷川凜太郎さん、大野結愛さん

大東文化大学

鈴木 寧々

介護者アプリ「つむぐケア」

「つむぐケア」は、介護者が一人で抱え込まず、安心して支え合える未来を実現するアプリケーション。最大の特徴は人工知能（AI）を活用して介護者の声を行政に届ける「行政パトロール」。また介護者同士が思いや感情を記録・共有できる「ケアログ」や、

りそな銀行賞



受賞した（右から）太田凜人さん、矢島寛大さん、金谷優希さん

明星大学

矢島 寛大

empath

「empath」は、中小企業と学生が「理念」や「人柄」を軸にした出会いの場を創出するプラットフォーム。採用を前提としない匿名マッチングが特徴。学生は大学名を伏せた匿名プロフィールに「大事にしたい価値観」「働き方への希望」「社会に対して実現

24時間商談トーク練習

指標に沿って改善点を具現化するため、個々の弱点に合わせた練習を継続できる。新人研修では実践的な学習が求められているにもかかわらず、現実にはOJTやロールプレイの機会・回数が不足しがちで、指導の属人化、育成品質のばらつきなどの課題がある。「営業ロールプレイAI」は、AIとの音声対話で24時間どこでも実践可能。会話後は発話ログを解析し、話し

集中力高め生産性向上

ない場面での生産性を向上する。仕様は定電流方式で、人間工学に基づき装着感を最適化する。重量は20〜30gの軽量とし、1回の充電で10時間以上使用できる。安全機能として多重フェールセーフ機能も実装予定。収益モデルはB2BとB2Cの両輪で展開する。B2Bは、物流企業や夜勤事業者に対してデバイスを貸与し、保守・サポートと合わせて

消耗品のサブスクリプション契約を提供する。導入企業は初期投資を抑えながら、従業員の安全性向上と集中力の維持を実現できる。利用料は1人あたり月額1000〜1500円を目安に設計する。B2Cは、ECサイトを中心に本体価格9800〜1万2800円で直販する。追加費用のない明確な価格設定とし、手軽に導入できる健康機器として市場シェアの拡大を目指す。

「介護＝孤独」から脱却

先輩介護者に相談できる「オープンチャット」、介護用品やサービスを比較できる「ケアカタログ」も搭載。高齢化社会が進む中、「介護＝孤独」から「介護＝協力」へと意識を転換し、誰もが心に残るサポートで介護と向き合える社会を創ることが目的。行政パトロールは、行政が介護者に直接アプローチできる仕組みで①介護者の投稿内容をAIが審査し、補助を必要とし

ている人をピックアップ②行政に要支援者のリストが届く③ユーザーに対してケアプランが届くなど介護者を支える。ケアログは参加型交流型サイト（SNS）で、共感やつながりを育む。蓄積された感情データは「感情傾向グラフ」として可視化できる。感情傾向グラフで感情の沈みが一定水準を下回ると、「先輩オープンチャット」への招待通知が届く仕組み。

中小企業と学生に出会い提供

したいこと」を入力し、企業は「経営理念」「社長の思い」「社員が大切にしている文化」など、求人票では伝えきれない情報を登録する。マッチングは共感をベースに行い、親和性が見られた場合に短時間の1対1面談を設定する。この面談は採用面談ではなく、互いを知る場として設計され、学生は気軽に参加でき、企業は理念などを直接伝えられる貴重な機会となる。

利用プランは二つある。1、2年生向けは「早期からインターンに参加できるキャリア探索プラン」。3、4年生向けは「従来とは異なる新しい就活プラン」を提供する。今後は相模原商工会議所や地域大学と連携して実証実験を行い、利用者双方のフィードバックを反映させながら機能改善を進め、最終的には商工会議所ネットワークを活用して全国展開を目指す。

第22回キャンパスベンチャーグランプリ東京審査委員

【審査委員長】 各務 茂夫 開志専門職大学 学長・東京大学 特命教授

【特別審査委員】 濱口 慎吾 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課 課長

【審査委員】 阿部 博 あずさ監査法人 常務執行役員 インキュベーション部長 栗井 邦彦 AGS 常務執行役員 法人事業本部 長 本ベンチャーエンタープライズセンター 理事長 市川 隆治 日本MITベンチャーフォーラム 理事 伊藤 智久 東京商工会議所 理事 中小企業部長 上田 裕子 ストライク 未来戦略室 室長 鈴木 芳憲 アートグリーン 代表取締役社長 田中 豊 日本ベンチャー学会 理事・事務局長 田村 真理子 りそな総合研究所 執行役員 吉田 泰直 日刊工業新聞社 執行役員 編集局長 鈴木 真央

【アドバイザー】 岡田 基幸 浅間リサーチエクステンションセンター 専務理事・センター長 呉 雅俊 TNPパートナーズ 代表取締役社長 磯谷 篤志 日本MITベンチャーフォーラム 理事 森 滋哉 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部シニアマネジャー 須藤 章 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部マネジャー 堀川 翼 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部マネジャー 河野 諒平 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部スタッフ 高畑 侑牧 あずさ監査法人 企業成長支援本部 インキュベーション部

（2025年12月時点、順不同、敬称略）

ジビエおやつ専門ECサイト「もぐジビエ」

創価大学 松村 香里

奨励賞

安心安全・持続可能を目指す

ジビエおやつ専門ECサイト「もぐジビエ」は、生産者と消費者を結ぶプラットフォーム。生産者はECサイトで商品を自由に出品・価格設定でき、小規模な処理施設でも販路拡大、廃棄削減が可能になる。

カウンセリングが受けられるシェアラウンジの運営

鎌倉女子大学 藤野 裕乃

奨励賞

気軽で自由な空間提供

本プランは、公認心理士によるカウンセリングサービスと、快適なラウンジ空間を組み合わせたシェアラウンジの運営。来店者は必要に応じて「悩みを相談する場」と「自由に作業などをして過ごせる場」を使い分けることができる。医療機関ではなく、気軽に悩みを相談できるサービスを提供することで、心を軽くする手助けをする。店内にはプライバシーを守る個室ブースを設置し、予約または利用可能。

eスポーツによる学校間の地域クラブ CLUBE AILE

明星大学 酒井 陽飛

奨励賞

子ども同士を相互支援

本プランは、不登校児童と通学児童生徒が安心して交流できるオンラインコミュニティの構築が目的。eスポーツを媒介に、自然な協働と成長を促す仕組みを提供する。不登校児童は自宅から参加して、孤立を防ぎ社会性を育むことができる。通常登校生徒は、学校とは異なる新しい仲間と出会う場となり、多様な人間関係を築くことができる。さらにプロや専門家との交流イベントを実施し、挑戦と努力が認められる機会を通して自己肯定感を高め、将来のキャリア形成につながる学びを実現する。

全方位セキュリティで、あらゆる脅威に備える。

お客様のITパートナーとして50年。ビジネスの成長とセキュリティの調和を保つ貴社に最適なセキュリティソリューションの導入は、IT専門パートナーのAGSにご相談下さい！

- ☑ 社内のDX化に伴いセキュリティ対策に不安がある。
- ☑ ランサムウェアやフィッシング攻撃などから社内システムを守りたい。
- ☑ 社内の重要なデータや顧客情報が漏洩しないようにしたい。

AGSではお客様のセキュリティ対策ソリューション導入に対して、コンサルからシステム構築・運用までトータルサポートいたします。



金融+で、未来をプラスに。RESONA GROUP

お役立ち情報も、法人口座も、りそな。詳細は当社HPをご覧ください。

法人口座開設

来店不要で口座開設。月額利用料0円の法人アプリやビジネスを広げる様々なサービスで経営をサポート。

Q りそな銀行 法人口座開設 検索

※WEB完結対象でないお客さまはご来店が必要になる場合もございます。

あなたのビジネスに **なるほど!** を

法人のお客さま向け情報発信サイト **りそなBiz Action**

Q りそな BizAction 検索

<https://www.resona-biz.jp/>